

レポ-ト

No. 446



日本共産党区議会議員

おぐり智恵子の

議員活動報告

発行・日本共産党中央区議会議員団 Tel 3546-5563

HPアドレス <http://www.jcpchuo-kugidan.jp/>

気候危機を打開するため目標の引き上げを

中央区環境行動計画2018の見直し

「グラスゴー気候合意」を採択

英国で開かれていた国連気候変動枠組み条約第26回締約国会議（COP26）は、世界の平均気温の上昇を1.5度に抑える努力を追求するとした成果文書を採択して11月13日閉幕しました。

日本の排出削減目標は、30年度に10年度比42%減と、世界平均を下回っている上、30年以降も石炭火力を使う姿勢を示し批判を浴びました。二酸化炭素（CO₂）排出世界5位の日本が脱炭素に責任を果たさないことは許されません。

CO₂排出量50%60%削減を

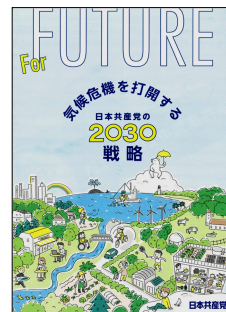
日本共産党は、9月1日、世界の科学的知見の到達点、日本の環境団体や専門家の研究と提言を踏



質問するおぐり智恵子議員

【質問項目】

1. 新型コロナウイルス感染症対策について
2. デルタ株拡大のもとでの保育、教育の保障について
3. 気候危機打開について
4. 晴海地区の新設学校・公共施設用都有地購入について
5. ジェンダー平等について



「気候危機打開のための日本共産党」

の2030戦略」を発表しました（裏面参照）。CO₂の削減目標を30年度までに、10年度比で50%60%削減するもので、省エネの徹底と再生可能エネルギーの活用で達成可能だという提案です。

ゼロカーボンシティ宣言に見合う目標に

おぐり智恵子議員は、9月21日、本会議で「気候危機打開について」一般質問を行いました。

中央区は、今年3月の第一回区議会定例会で「ゼロカーボンシティ中央区宣言」を決議し、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼ

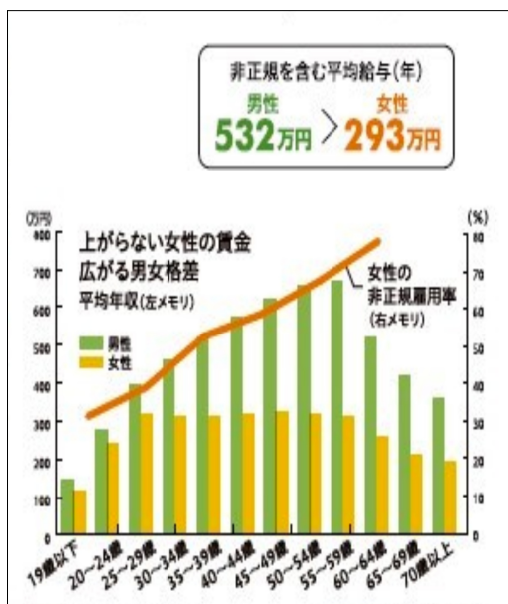
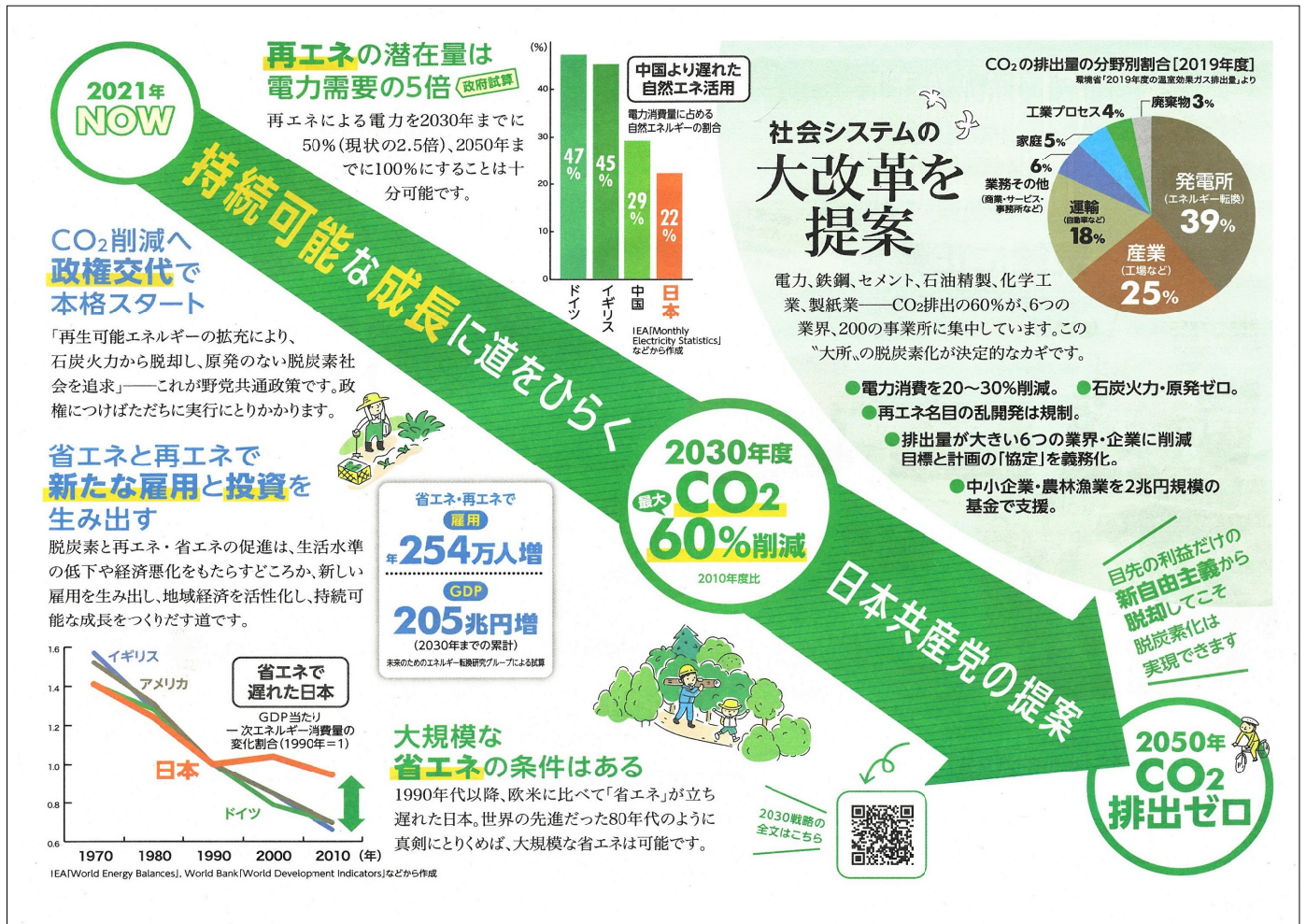
ロを目指すことを宣言しました。今後「中央区環境行動計画2018」の見直しを2023年3月予定で行い、ゼロカーボンシティ達成に向けての新たな施策の推進を図るとしています。

おぐり議員は、「環境行動計画2018」ではCO₂排出量を30年度までに13年度比で「21%削減する」としていますが、目標を引き上げ「50%60%削減する」よう求めました。

区長は、「環境行動計画2018の見直しは環境行動計画推進委員会において作業をすすめる」という答弁でした。

脱炭素化めざすまちづくりを

さらにおぐり議員は、まちづくり分野が重要だとして、CO₂排出量を何倍にも増やす巨大開発は止め、太陽光パネルで消費エネルギーがまかなえる「ネット・ゼロ・エネルギー・ビル（ZEB）」にしていくなど、脱炭素化を強力にすすめるまちづくりに転換することを求めました。



おぐり議員は、「中央区男女賃金格差是正の取り組みを

賃金格差是正の取り組みを

世界経済フォーラムが今年3月31日に発表した、男女の平等度を示す「ジェンダーギャップ指数2021」で、日本は156カ国中120位でした。日本はとくに、経済と政治参加の分野で、117位、147位と世界の最低クラスです。

日本では、働く女性の56%がパートやアルバイト、派遣などの非正規雇用で、賃金格差は女性性は男性の55%と先進国では最悪の水準となっています。

「ジェンダー平等」の実現めざして

共同参画行動計画2018」の取り組みで「職場における男女間格差の是正や働き方の仕組みの見直しなど」にむけて「情報の提供」を行なうとしています。賃金格差の是正に向けた取り組みを強力に進めるよう求め、区を取組みについて質問しました。

区長は「区では、保育施設の整備など、子育て・介護の負担軽減にむけたサービスの充実や企業経営者向けのワークライフバランス推進企業の認定など、女性が安心して働き続けられる環境整備を図っている」と答弁しました。(上グラフ/日本共産党ジェンダーパンフより)

◆ 無料法律相談会 ◆
毎月第3 (火) 3時から
要予約 ☎ 3546-5563



おぐり智恵子のブログ
「マロンレポート」
ほぼ毎日更新中